県略たより

KENRAKUDAYORI





「酪農家とともに」酪王協同乳業㈱がスタート

令和3年10月1日、酪王乳業と東北協同乳業が合併し新生「酪王協同乳業株式会社」がスタートしました。 当日は本社(本宮工場)に新聞・雑誌・テレビ・ラジオ14社が集まり記者発表を行い、株主の全国農業協同組 合連合会の齊藤良樹常務理事、続いて福島県酪農業協同組合の紺野宏組合長が挨拶しました。その後代表取締役 に就任した鈴木伸洋社長(旧酪王乳業)が新会社の方針等を発表し、代表取締役佐久間博康副社長(旧東北協同 乳業)が会社概要及び製品紹介を行いました。

鈴木伸洋社長は記者からの質問に「今後の会社運営に両社の強みを生かし、合併再編のシナジー効果を導き安 定した経営を行っていく」と答えました。

ビジョン、役員体制は以下の通りです。

経営理念 『酪農家とともに』

私たちは、酪農家が育んだ自然の恵みを活かして、安全で新鮮な美味しい牛乳・乳製品を消費者へ お届けするとともに、酪農家の営農に貢献し、豊かな社会づくりや環境保全に取り組み、地域から 支持される企業を目指します。

ビジョン (めざす姿)

- 酪農家と消費者の懸け橋として、地域の酪農振興と、地域の人々の健康的な食生活に貢献する 乳業会社
- 法令や社会規範を遵守する誠実な経営の実践のもと、持続的に成長し、地域社会の発展に貢献 できる乳業会社
- 社員ひとりひとりが、明るく、楽しく、元気よく働き、仕事を通して自己成長ができる乳業会社

役 職	氏 名
代表取締役社長	鈴 木 伸 洋
代表取締役副社長	佐久間 博 康
常務取締役	鵜飼和彦
常務取締役	村 田 久 明
常務取締役	渡辺隆行
取 締 役	星野宏行
取 締 役	渡部俊男

	役 職				氏	名	
取	締	役		深	松	聖	也
取	締	役		JI]	井	智	樹
取	締	役		緒	野		宏
取	締	役	,	佐	藤	幸	光
監	査	役		齋		宏	行
監	查	役		会	田		透

福島民報社

長 宗像実さん・洋子さんご 表彰式が行われ、福島県酪農 野で最も権威ある県農業賞の 業協同組合代表 前 理事組合 夫婦が受賞されました。

門での受賞となり、高品質な 年連続にて乳質改善優良組 年から当組合の総会表彰で七 す。ご存じの通り平成二十七 四十年にわたり継続し徹底し 状態を確認する牛群検定を 生乳生産に努め乳量等の牛の の経営です。農業経営改善部 息子の敦さんとの家族三人で た個体管理を実践していま す。地域では共同で飼料用デ 合員として表彰されていま 宗像牧場は、後継者である



今回の受賞、誠におめでと

した。 と受賞の喜びの声が聞かれま 地の解消にも尽力したい。」 の減少に伴って増える遊休農 努力が認められた。今後も牛 頭一頭を大切に育て、農家 最後にご夫婦から「長年の

感謝申し上げます。 部支援課の皆様のお力添えに 県中農林事務所農業振興普及 て郡山市農林部農業政策課 活躍をご祈念申し上げます。 県農業賞推薦にあたりまし

ます。 地の解消にも力を入れており ントコーンの栽培など遊休農

妻会館に於いて県内の農業分

さる、九月三日福島市の杉

第六十二回

県農業賞 (農業十傑

宗像実さん・洋子さん夫婦

期待されるところです。 予定しており、地域の中核農 営基盤が確立されました。近 が就農され、家族三人での経 前の組合長就任を機に敦さん 退されましたが、二期六年組 六月に開催の通常総会にて勇 農を営われております。今年 農、ご夫婦で四十五年以上酪 家としてさらなる経営発展が い将来、敦さんに経営継承を 合長を務められました。六年 宗像実さんが昭和四十三 洋子さんは昭和五十年就







第47回 らくのうこどもギャラリー

荒 勇翔 さん ~ 福島県相馬市立八幡幼稚園

年女性酪農発表 日全国酪農青 大会で行われま 表 れ、入賞者の発 ラリーが開催さ が七月十五

獲得しました。 二十六点)の応募があり、全国で一番となる した。全国で一九八点(うち福島県からは 特選」を相馬市立八幡幼稚園 荒勇翔君が



のうこどもギャ

第四十七回らく

女性会議主催の

全国酪農青年

感染防止対策として、 たが、今回は新型コロナウイルス 人賞者がありました。 へ賞状と副賞が贈られました。 以下、入賞者をご紹介します。 福島県では、 入賞した方が二名と、多くの 特選の荒勇翔君の 後日対象者

講評がありました。(全酪連会報七月号より)

発表大会で表彰式を行っておりまし

の魅力に溢れた独創性のある作品です。」と 腹に張り付いたピンクのお乳など、絵として 真正面から見た牛さんのお顔や大きな体やお 姿は、子供らしい自由な発想を感じさせます。

「空中に浮かんでいるかのような牛さんの



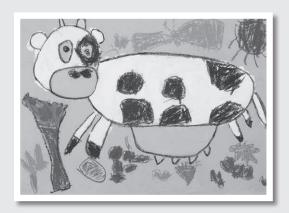
【「うしさん、おおきいな」

相馬市立八幡幼稚園 荒 勇翔 君 (当時 4歳)



「草原の牛」

塙町立笹原小学校 松本悠真 君 (当時5年生)



あすなろ賞 「かわいい うしさん」

相馬市立大野幼稚園 小川さくら さん (当時 5歳)



興牧場の進捗状況や試

験圃場の概要を説明し

開催したいです。)

また、

浪江町での復

く心置きなく懇親会を いただきました。

周辺の草刈り等、 当日は組合員皆様と職員併せ 環境整備を実施し

十時から、

南相馬市小高区の事務所

浜事務所では九月十五日州に午前

2021

環

実施しました。この環境整備は東日 本大震災以降に事務所ライフライン 二十名で十二時まで、 復旧後四回目の環境整備となりま お陰様で、 本当にご協力あり きれいになりまし 休憩を挟んで

がとうございました。

作業後は、本来であ

浜 地 X

ては、 場の打合せに使用して 点として使用すること するとこの事務所を拠 現在浜事務所につい 浪江町の復興牧 今後建設に移行

福島県牛乳普及協会

おいしい弁当を黙食で ろですが、残念ながら 懇談をしたかったとこ れば懇親会を開催し

令和3年9月27日に令和3年度第42回牛乳・乳製品利用料理コンクールの 書類審査が、福島県酪農協で行われました。今年度も、福島県内の一般・高

校から680作品の応募がありました。アイデア満載の牛乳・乳製品を使用し

た料理レシピの中から厳正なる審査の結果、6名の方が入賞しました。

新型コロナ感染防止対策をしっかりと行い、10月21日には(公財)福島県 学校給食会にて入賞者6名によります牛乳・乳製品利用料理コンクール福島

県大会の開催を予定しています。



また、入賞作品を掲載した料理レシピ集も 作成予定ですのでぜひ楽しみにお待ちください 💵 * 今後の新型コロナ感染状況等によっては 福島県大会を中止とする場合がございます。



福島県酪農業協同組合 生産部 購買畜産課

令和3年10~12月の牛用飼料価格について

月)の牛用飼料(配合・哺育)につきまして、! ています。 下記のとおり価格改定を致しますのでご案内 申し上げます。

記

改定額(令和3年7~9月期対比)

- (1) 牛用配合飼料 り当たり 1,550円値下げ : は底堅く推移しています。
- (2) 牛用哺育飼料 5 当たり 39,000円値上げ 原料情勢等につきましては、以下のとおり です。

主原料である米国産とうもろこしは、9月 10日米国農務省の需給予想において2021年産 の生産量は3億8,092万トン・前年比105.7%、 単収は176.3ブッシェル/エーカー、総需要 量 3 億7.594万トン、期末在庫3.576万トン、 在庫率9.51%と発表されました。

新穀については、順調な生育状況からシカ ゴとうもろこし相場は一時的に比較すると弱 含みで推移していますが、引き続き中国を中 心とした穀物需要の増加により期末在庫は減 少しています。また、ブラジル産の生産量が、 霜被害や乾燥により前年対比で減少している ことから相場は底堅く推移しています。

大豆粕については、米国産大豆の新穀生育 状況は順調であること、中国の旺盛な飼料需 要が一服したこと等からシカゴ大豆相場は緩

令和3年度第3四半期(令和3年10月~12 : やかに下落しており、相場は弱含みで推移し

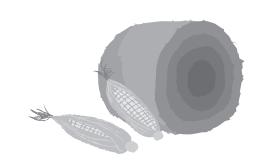
糟糠類については、グルテンフィードはス ターチメーカーの稼働が低調なため、相場は 底堅く推移しています。また、ふすまについ ても小麦粉挽砕量が引続き低調なため、相場

脱脂粉乳については、中国等の活発な引き 合いが継続する中、主産地の発生量が減少し ているため、相場は堅調に推移しています。

海上運賃は、世界的に穀物や鉄鉱石・石炭 の荷動きが活発なことから傭船料は堅調に推 移する見込みです。

為替相場は、新型コロナウイルスのワクチ ン接種進展に伴う景気回復期待の中、米国の 金融緩和政策の縮小観測による金利上昇圧力 により、前期と比較して円安・ドル高で推移 する見通しです。しかし、新型コロナウイル スの感染再拡大も危惧されていることから先 「行き不透明な状況が継続すると思われます。

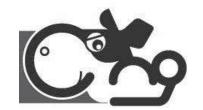
以上



購買畜産課より

生産者応援キャンペ・

- ① カーフトップ ② カーフトップEX
- ③ カーフトップEXブラック





間:令和3年 10月末日 引取り分まで 期

対象品:カーフトップシリーズ全て

価格 据え置き (本来は10月より39,000円/トン値上げ)

※上記期間中の引取り分までがキャンペーン対象となります。

配合飼料については10月より1,550円/トンの値下げとなりましたが、輸入乾 草・原料脱脂粉乳については値上がりが続いており、生産現場においてもコ ストの上昇が経営を厳しくさせる原因の1つとなっている事と思います。

そこで、皆様の経営安定の一助といたしまして、上記対象品を据え置き価 格で提供させていただきます。

この応援キャンペーンにつきましては当組合独自の対策となっておりますの で、この機会に是非ご利用ください!

お問い合わせは、福島県酪農業協同組合購買畜産課・各事務所まで お気軽にお寄せください!!

指導推進課コラム

10月

より良いサイレージ調整のために

今年も自給飼料の収穫シーズンがやってまいりました。以前にも増して不定期な悪天候が続き、収穫作業は困難を極めているかと思われます。今月号では、今一度自給飼料調整=サイレージ調整についておさらいの意味も込めて説明していきたいと思います。

サイレージとは

主に乳酸菌など空気を嫌う細菌(嫌気性菌)の力を借り、飼料中の糖などを乳酸に変えることでpHを低下させ、安定的な長期保存を可能にした飼料をサイレージといいます。

pHを低下させることで保存する方法(酢漬けなど)は古くから食品や畜産において活用されてきた方法で、サイレージについても保存能力はピカイチです。

またサイレージ内での発酵産物についても、乳牛にとっては重要な栄養源となります。適切なサイレージ調整が乳牛の牛産性を上げます。

菌の戦い

上記の通り嫌気性菌とは、空気を嫌う細菌です。正確に言うと、酸素を用いずに増殖・発酵する細菌を嫌気性菌といい、このような発酵を嫌気性発酵といいます。逆に酸素を必要とする菌を好気性菌といいます。サイレージ内では上記の菌たちが生き残りをかけて戦っています。

サイレージ内の発酵において、活躍する嫌気性菌に**乳酸菌**があります。乳酸菌の発酵産物である乳酸は 強いpH低下能を持ち、乳酸発酵の進行がサイレージの長期保存を可能にします。

やがて、サイレージ内のpHが4.2まで低下すると、同じ嫌気性菌である**酪酸菌**などほとんどの菌の活動が停止します。酪酸菌の生成する酪酸は乳牛の嗜好性を低下させ、分娩後の過剰給与はケトーシスを起こすリスクがあります。サイレージ内のpHを素早く4.2まで低下させることが良質なサイレージ作りにつながることがわかります。また酪酸菌は土壌に多く存在する菌です。サイレージ調整時に土かみが起こると、サイレージ内の酪酸菌が増えてしまい、乳酸菌優位のサイレージに仕上がるまで時間がかかってしまいます。

またサイレージの品質低下の要因に**カビ**の繁茂が挙げられます。乳酸菌や酪酸菌とは異なり、カビは酸素を必要とする好気性菌です。カビの増殖は単純に乳牛の嗜好性を低下させるだけではなく、カビ毒を生産し乳牛に害をもたらします。前述の通りカビは好気性菌のため、サイレージ調整の際には、ロールであれば適切な密封、バンカーであれば充分な踏圧によってサイレージ内の酸素を抜くことでカビの繁茂を防ぎます。

カビ

土壌、作物表面どこにで も存在する菌類。酸素が あれば、サイレージ内の どこでも増殖し、腐敗や カビ毒の発生を起こす。

酪酸菌

土壌中に存在する嫌気性菌。主に 土かみによってサイレージ中で増 殖し、牛の嗜好性を低下させる酪 酸を生成する(酪酸発酵)。



乳酸菌

土壌、作物表面どこにで も存在する嫌気性菌。 糖分などの炭水化物をも とに乳酸を生成する(乳 酸発酵)。

図1.主にサイレージ調整に関わる細菌

乳酸菌を上手に活躍させるために

前項の説明で、乳酸菌を活躍させることで良質なサイレージにつながることがお分かりいただけたかと思います。それでは乳酸菌を活躍させるためにはどのような方法があるのでしょうか。

①水分の調整 ~ 乾燥 ~

一般的に乳酸菌は現物中2%以上の糖分が含まれている飼料において、乳酸発酵を活発に行います。しかし若刈りの牧草でも、糖分は現物中1%ほどしか含まれていません。そこで飼料を乾燥させ、重量を半分にすることで現物中1%の糖分を2%まで上げることができます。そのため牧草のサイレージ調整の際は、水分量50~70%で行うことが最適とされています。

また、高水分(80%以上)で調整したサイレージでは酪酸発酵が起きやすいため注意が必要です。

②密封 ~ なるべく素早く行う ~

嫌気性菌である乳酸菌のために、サイレージ内を空気(酸素)のない状態にしてあげることはサイレージ調整において最も重要な作業です。密封が充分でないと、乳酸発酵は不十分に終わり、さらに酪酸菌や、カビの繁茂の原因になります。

さらに、刈り取りからサイレージ調整までに時間がかかることで、サイレージの品質が低下すること

も分かっています(表 1)。 乾燥が終わった牧草は早期に サイレージ調整を行うよう心 がけましょう

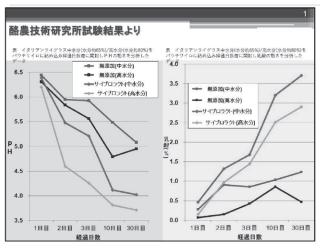
材料	処理	рH	乳酸%	酪酸%
オーチャード	早期密封	4.15	1.45	0
グラス	密封遅延	5.12	0.85	1.01

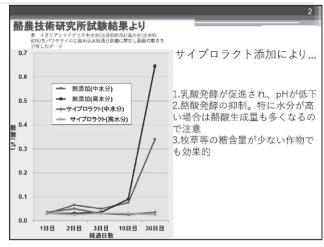
表1.サイレージ品質に及ぼす密封遅延の影響,1978 より

③添加剤の使用

飼料の収穫作業は常に天候とのにらめっこです。上述した方法が最適であることはわかっているが、 天候のせいで思うようにいかないという方は想像以上に多いかと思われます。

そこでサイレージ用の添加剤というものが販売されております。全酪連より販売されているサイプロラクトは、非常に高能力な乳酸菌が含まれているサイレージ添加剤です。試験結果からは、高水分サイレージでも、十分な乳酸発酵をもたらし良質なサイレージ作りの一助となることが示されています(下図参照)。





今月はサイレージ調整について説明いたしました。1番草の刈り取りはほとんどの方が完了されているかと思いますが、本日の内容が次の収穫作業のお役に立てればと思います。

また、今回は便宜的に乳酸菌をよいもの、酪酸菌を悪者のように扱いましたが、発酵とは人の役に立つ 微生物の働きであると定義されております。

酪酸菌は乳牛のルーメン内でエネルギーとなる酪酸を生成します。逆に乳酸菌については、乳酸の多量生成によってルーメンアシドーシスの原因ともなります。それぞれの菌を時と場合で上手に使い分けることが、発酵で成り立つ酪農であることを最後にご認識いただければと思います。

ZENOAQ コーナー vol.202



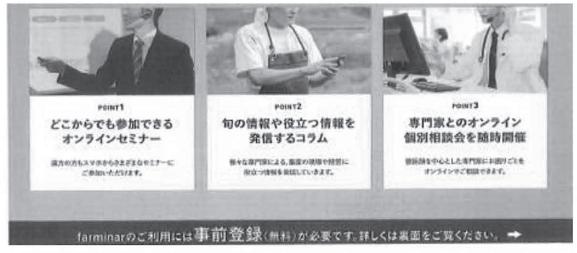
お客様専用オンライン 情報配信サービスのご案内

〒963-0196 福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1 日本全薬工業㈱ 福島営業所 TEL024-945-2306 FAX024-945-9345



Farminarとは

Farminar(ファーミナー)とはオンラインセミナーやコラム、個別オンライン相談などを通して、いつでも気軽に畜産を学ぶことができる、ゼノアックが提供するお客様専用のオンラインサービスです。生産者(肉牛・酪農・養豚)および獣医師の方に向けた情報を発信していきます。



配信日時 > 2021年10月22日(金) 12:45~15:00

2021年度ZENOAO酪農セミナー

「健康な子牛を育てるために」

~乾乳期から哺育管理まで~



請師 杉野 利久先生(広島大学大学院統合生命科学研究科 教授)

司会 三好 市朗先生(エムズ・デーリィ・ラボ代表)

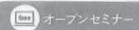
乳牛の栄養生理学がご専門。 哺育飼養管理や周度期飼養管理、暴熱対策や スマート畜産など様々な研究でご活躍されています。





farminarのオンラインセミナーについて

farminarでは肉牛、酪農、養豚に関するオンラインセミナーを、内容に合わせて3タイプご用意しています。



会員登録なしで誰でも受請していただくことが できるオンラインセミナーです。ただし受議 には事前お申し込みが必要です。



forminar会長原定のセミナーです。 過去のセミナーやオンライン限定のショート セミナーなどもご覧になれます。



チケットをご購入いただくことで受請できる オンラインセミナーです。より専門生の高い内容の セミナーとなります。

まずは二次元コード又は注釈の URLから事前登録ページにアクセス

※アクセスできない方はこちらのURLから https://farminar.jp



登録お申し込みフォーム お申し込みフォームは生産者および畜産関係者、獣医師で分かれておりますのでお問違いのないようご注意ください。

ゼノアックによる確認

当サービスは生産者および畜産関係者、獣医師の方向けと なっております。それ以外の方からのお申し込みはお断りさせて いただく場合がございますので、予めご了承ください。

アカウント発行

権認が完了しましたらご登録いただきましたメールにお送り いたします。アカウント発行のご連絡は10月上旬を想定して おります。



T963-0196 提供票额山市安装取银利学平/上1首地の1 TEL 024-945-2319 FAX 024-948-5630

Z5ILL# ニッポン

畜産を応援するメディア「どっこいしょニッポン」 ゼノアックでは日本の直産を応避するメディア「どっこいしょニッポン」を認覚 しております。事業を背負っていく息撃高校の条件を応復する「つながる 最高プロジェクト」など、日本の指揮を築り上げる活動を行っています。

問合せはゼノアックスタッフにお願いいたします

全酪連の小窓 第113回

全酪連の小窓 10月号 ~乳質改善~



全酪連の小窓 10月号 ~乳質改善~

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。夏とはまた違った季節の楽しみを感じるようになってました。

牛にとっては夏の暑さを耐え、疲労が見えてくる時期になります。牛の状態だけでなく、乳質に も影響が出ますので注意していきましょう。

乳質とは?

物理的乳質

比重、温度、ごみ、臭い、加水、アルコール

衛生的乳質

生菌数、総菌数、大腸菌、体細胞、抗生物質

栄養的乳質

脂肪、無脂固形

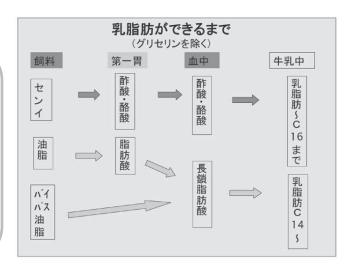
栄養的乳質の変動要因

季節 分娩後日数、遺伝、疾病、産次 飼料給与



乳脂肪の改善

- ·牛群改良
- ・センイの給与
- ・第一胃をpHを正常に バッファ剤 粗飼料の適正給与 給与回数の増加



ZENRAKUREN

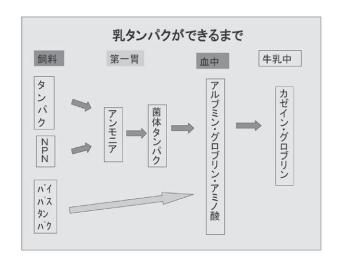


ZENRAKUREN



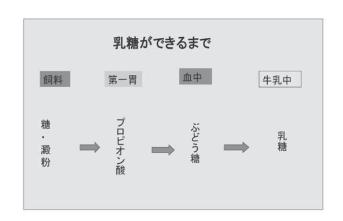
乳タンパクの改善

- ·牛群改良
- ・飼料中のタンパク増量 アンモニア過剰 給与回数の増加
- ・飼料中のデンプン増量
- ・乳房炎の防除 カゼインの減少防止



乳糖の改善

- ・エネルギーの充足
- ・乳房炎の防除 カゼインの減少防止



総合的な改善

- ・個体別の乳質記録牛群検定、牛群改良
- 環境改善 ストレスの改善
- ·飼料給与改善 水の重要性

- ▽十分に休息できていますか?
- ☑清潔な水が飲めていますか?
- ☑便・毛づや・ボディコンディションは正常ですか?
- ☑ 粗飼料は十分に食べていますか?

給与方法や給餌メニューでご不明な点がありましたら、 全酪連スタッフや福島県酪職員へご相談ください!

乳牛頭数調査集計表(公共機関を含む)

令和3年8月31日現在

		酉	各農家戸数	· 文			<u>~</u> f	L	牛		頭	数		
地	区		治左斉					経層	崔 牛			治左		1戸当
146 1		戸数	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	乾乳	妊娠	空胎	小計	合計	前年度 頭 数	前年比	り頭数
			户 毅				妊娠	搾乳	搾乳	小印		與 奴		り顕数
		戸	戸	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%	頭
県	北	35	35	100.0	465	242	204	426	829	1,459	2,166	2,210	98.0	61.9
県	中	65	72	90.3	298	137	194	364	825	1,383	1,818	1,843	98.6	28.0
浜	Ž.	7	7	100.0	86	29	27	55	131	213	328	326	100.6	46.9
県	南	40	40	100.0	699	290	264	637	1,004	1,905	2,894	2,854	101.4	72.4
県酪合	合計	147	154	95.5	1,548	698	689	1,482	2,789	4,960	7,206	7,233	99.6	49.0

		月 別	分	娩 予	定	頭数			販	売 豸	L 量	
地区	人和り 年	令和3年	令和3年	公和 り年	△和 4 年	令和4年	A和 4 年	生乳	地域別則	反売乳量	1日1頭呈	当り乳量
地区	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	出荷 戸数	1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	F	kg	kg	kg	kg
県 北	122	150	132	149	103	100	116	31	34,049	1,098	27.1	23.3
県 中	121	109	88	87	102	69	119	65	29,466	453	24.8	21.3
浜	20	12	15	19	19	12	14	7	5,574	796	30.0	26.2
県南	136	184	167	172	166	128	238	40	45,917	1,148	28.0	24.1
県酪合計	399	455	402	427	390	309	487	143	115,006	804	26.9	23.2

令和3年度受託乳量の状況

令和3年8月の受託乳量は、県全体で前年比102.3%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,564^ト,前年比106.0%(対前年同201^ト,増)、全農県本部は1,532^ト,の対前年比94.6%(対前年同月87^ト,減)の実績であ

りました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比 99.2%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比103.0%となり ました。

令和3年度用途別販売乳量の状況(東北全体)

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが166.0%、生クリーム向けが109.4%と上回り、飲用向けが94.5%、学乳向けが64.9%、発酵乳向けが96.0%、チーズ向けが90.4%と下回って推移しました。

引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力

をお願い致します。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均48.2^ト》 (前年比91.3%) で、本組合生産量の42.0%、県全体生産量の29.4%の処理量となりました。

令和3年度8月別支払乳価表

令和3年度の販売乳価は、全用途で前年度価格据え置きとなりました。

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より2円6銭下回る単価となりました。

全国の新型コロナ感染者数が減ることが、人・物が今までとおり動き出し、経済も回復し、結果、牛乳・乳製品の消費回復と乳価が上がることにつながっていきます。一部都道府県で実施さ

れていた緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置については、9月30日をもって終了となりますが、まだまだ油断できない日々が続いております。感染症対策を徹底し、皆さんで新型コロナが終息するまで頑張りましょう。医療従事者皆様のご苦労については感謝申し上げます。

- ■東北全体プール乳代金 4,404,606千円 単価108.991円
- 内福島県分プール乳代金① 534,624千円 単価108.991円 プール対象外乳代金② 31,519千円

(学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 566,143千円 単価111.117円

項	目	令和3年8月	前年同月	増 減	前々年同月
プール	- 乳価	108円700	111円302	-2円602	108円059
補給金	定単価	1円140	0円732	0円408	0円725
集送乳調	整金単価	0円357	0円223	0円134	0円217
合	計	110円197	112円257	-2円060	109円001

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体8月)

用 途 別	販売乳量 (トչ)	日 量 (ト _ン)	前年比(%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	28,127	907.0	94.5	68.3	71.6
加工向け	4,967	160.0	166.0	12.1	7.2
学校給食向け	795	26.0	64.9	1.9	2.9
醗酵乳向け	6,620	214.0	96.0	16.1	16.6
生クリーム向け	548	18.0	109.4	1.3	1.2
チーズ向け	150	5.0	90.4	0.4	0.4
合 計	41,207	1,330.0	99.2	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

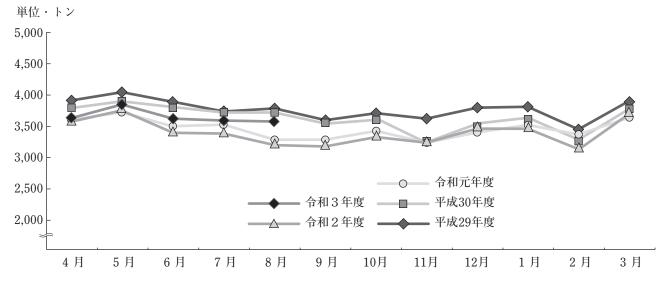
団体別受託乳量の状況

北海道:102.6%、都府県:99.2%

			8	月	分
团	体	名	受託乳量 (ʰ¸)	日 量 (' _')	前年比 (%)
県	酪	協	3,564	115.0	106.0
全農	福島県	本部	1,532	49.4	94.6
合		計	5,096	164.4	102.3
東北	1生乳則	反連	41,207	1,329.3	99.2
全		国	595,426	19,207.3	103.0

月別受託乳量 県酪協(トン)

年度月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564								
前年比%	101.4	103.2	103.8	103.4	106.0								



年次別・月別支払乳価一覧(補給金・集送乳調整金を含む)

年 度	4月	5 月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3 月	平均
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197								111.418
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141

第311回 県酪協乳牛市場成績

令和3年9月14日開催

購買者数 33名(うち県外17名)

13/14 0 1 7	/ 14日				- 押只1	380 00 0 ()	リンボババコル
区分	畜種	雌雄	成 立 数 (成 立 率)	最高価格 最低価格	平均価格(前回比)	平均体重(前回比)	平均単価(前回比)
		メス	1	488,000	488,000	102	4,784
	 ET和牛		(100)	488,000	(123)	(124)	(99)
		雄	7	503,000	462,429	97	4,753
		<u> </u>	(100)	413,000	(90)	(92)	(98)
		メス	5	41,000	27,400	66	414
ET和牛	乳 牛		(100)	8,000	(244)	(122)	(198)
初生牛	北 十	雄	59	167,000	98,390	75	1,315
		<u> </u>	(98)	25,000	(96)	(110)	(87)
		メス	101	282,000	172,515	73	2,370
	 交雑牛		(100)	31,000	(93)	(104)	(90)
		雄	81	298,000	205,247	80	2,550
		<u> </u>	(100)	93,000	(97)	(108)	(89)
紅	 圣 産 <u>-</u>		3	406,000	347,333		
万 至		Τ	(100)	278,000			
±-	 好	+	19	573,000	496,105		
17/	初 妊 牛		(95)	374,000	(96)		
13	空到田惟子5	±	9	345,000	301,333		
171	搾乳用雌子牛	I	(81)	260,000	(120)		

価格:円(落札価格) 率·比:% 体重:kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 (0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です)

	_ , ,									,	0 10			, , , , ,	٠,	1 10			, , , ,	3		2 1/2 11	, , ,	` / _	101	11111	/
₹.	1=	ılı#+#										価			格			帯	万円	9)							
畜	種	雌雄	< 26	~	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
	和牛	メス																							1		
	LU.—	雄																1			1	1		2	1		1
	1=	1U#+#										価			格			帯	万円	9)							
畜	種	雌雄	0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
乳	牛	メス	1	1		2	1																				
升し	+	雄			1	1	2	5	6	7	2	7	6	2	4	5	7	3	1								
₹.	14	ılı#+#										価			格			帯	万円	9)							
畜	種	雌雄	<5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
757	推牛	メス	1	1	1		2	1	2	6	9	5	10	14	7	3	11	9	6	2	4	3	2		1	1	
X*	±T	雄					1	1	2	1		3	6	7	6	7	6	5	5	7		4	4	5	6	3	2

初妊牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表

1737-1 1-3	07.13.			- 1	⊢.	10 /3 3																			
価格帯(万円)	<16	17	18	19	20	21	~	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
経産牛											1								1					1	
価格帯(万円)	<33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57
初妊牛					1	1						4	1					3	2		2		1	2	2
価格帯(万円)	<10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
搾乳用雌子牛																					2	1	1		1

	組 合 の 動	き 9	月
9月1日	辞令交付式	9月17日	酪農政治連盟福島県支部連合会常任委
9月3日	福島県農業賞授賞式(宗像前組合長)		員会
9月6日	第70回東北畜産学会福島大会	9月21日	令和4年度畜産振興に関する要望活動
9月7日	預託推進協議会役員会 (WEB)	9月22日	第6回理事会
9月10日	酪青連三役会	9月24日	福島県農業会議常設審議委員会
9月13日	乳牛改良推進協議会幹事会	9月27日	福島県CS再編協議会
9月14日	乳牛せり市場	9月28日	乳牛改良推進協議会理事会
9月15日	浜事務所環境整備	9月28日	経営検討会
9月16日	楽寿会役員会	9月30日	辞令交付式
9月17日	酪王乳業㈱臨時株主総会、取締役会		

理 事 会

第6回 令和3年9月22日

------ 議 案 ------

———— 報告事項 —

議案第1号 フィードラッパーの更新について 議案第2号 株式会社フェリスラテの監査役候補者 の推薦について

- 1) 一般社団法人全酪アカデミーの賛助会員の入会について
- 2) 今後の日程について

令和3年度 異動等辞令交付

◆新採用(令和3年9月1日付)

職位	氏 名	新任
嘱託職員	武 田 さとみ	経営管理部経営管理課
嘱託職員	近 内 めぐみ	生産部購買畜産課哺育センター
嘱託職員	川村宏太	生産部購買畜産課

◆派遣受入(令和3年8月23日付)

職位	氏 名	新任
派遣職員	相良亮祐	組織振興室
派遣職員	根 本 ひかり	組織振興室

◆退職者(令和3年9月30日付)

	氏 名	事 由	所	属
ſ	郡 司 小百合	依願退職	生産部購買畜産課長代理·地区担当	
Ī	齋 藤 佑 樹	依願退職	組織振興室	

◆異 動(令和3年10月1日付)

職位	氏 名	新 任	旧 任
副調査役	目 黒 裕 佳	生産部購買畜産課(地区担当)	生産部購買畜産課

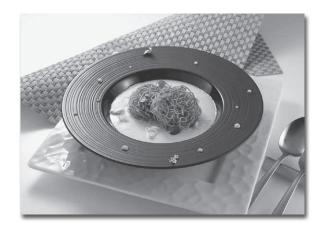
なお、令和3年9月1日付にて、震災時の執筆記録を岡前常務に依頼しました。 よって、月に数日間は本所事務所にて作業して頂いております。



濃厚!明太みるくあんかけ焼きそば

国際ビューティー&フード大学校 三浦 彩乃さんの作品

 g_{1}



(材料:4人分) ・牛乳 ············ 400ml ・白みそ ··········· 小さじ2 ・バター……40g ・豚ひき肉……… 200g スキムミルク………10g ・白菜………… 3~4枚

材料

●作り方

① 野菜は食べやすい大きさにカットし、もやしは 茹でる。

明太子とマヨネーズを混ぜ合わせておく。

② フライパンにバターをしき、お肉を炒める。同 時にしょうがも入れる。

少し火が通ったら、鶏がらスープと野菜を入れ る。しんなりしたら、牛乳とスキムミルクを入れる。

- ③ ②に明太子と白みそを入れる。味を見て塩・胡 椒する。
- ④ 皿に4.5cmのセルクルを置き、明太マヨとあえ たもやしを中に入れる。
 - ③を具とスープでセパレートする。もやしの周

りに具をのせておく。

⑤ フライパンにごま油をしき6cmのセルクルに麺 を入れ焼く。

皿をかぶせひっくり返し、片面も焼く。

⑥ スープの方を牛乳で溶いたコーンスターチでと ろみをつける。皿にスープを盛り、麺を2個ずつ のせ、明太マヨとかいわれ、金箔で飾り完成。



麺を型で焼き、食べやすいサイズに仕上げま した。



『ほっとMilk』投稿募集について

- 1. テーマは自由(ほっと(^o^)する話題がいいですね) 2. 受付(常時受け付けしています) ◎文章だけでも結構です。 ◎写真があると最高です。

メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。

E-mail: miura@fukuraku.or.jp • h-nemoto@fukuraku.or.jp

F A X: 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL http://www.milk.fukushima.jp